**平成２９年度の事業実施の方向性について**

資料４

障がいのある方々が創作した絵画等の作品を「現代アート」として評価し、これをマーケットにつなげていくことにより、アーティストとしての自立に向けたチャレンジを支援することを目的に、アート作品の公募展を開催し、市場につなげるべき作品を発掘する。併せて、公募展の開催により日ごろの創作活動の披露、発表の場を提供し、障がいのある方々の社会参加を支援する。

**〈平成29年度当初予算（議会審議中）**

障がい者アート公募展開催事業　502万円　＋　α（協賛金）

**１．第７回公募展の実施について**

**（１）開催計画**

**◆実施概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 主催協賛・協力実施方法　募集要項 | 大阪府・ビッグ・アイ未定ビッグ・アイ（共働機構）へ委託（同機構が実施するアート・プロジェクトと連携し、対象者や対象作品等を広げ、より高いレベルを目指す。別紙のとおり（資料５）　 |

**◆実施スケジュール**　※変更の場合あり

|  |  |
| --- | --- |
| 8　月下旬9　月下旬10月上旬10月上旬10月中旬11月下旬 | 作品公募　募集開始 　（同日付 報道機関資料提供）作品公募　募集締切作品審査審査結果通知 　　　　　　　（同日付 報道機関資料提供）入選作品展の周知開始　　　　（同日付　報道機関資料提供）入選作品展※このほか、全国での巡回展開催（平成30年度実施）を検討 |

**２．福祉基金助成事業「アートを活かした障がい者の就労支援事業」について**

|  |  |
| --- | --- |
| （これまでの経過）（今後の予定） | 平成29年１月31日　　申請書受付締切平成29年２月21日　　１次審査会を実施平成29年４月下旬　　　第１回基金運営分科会（最終審査）平成29年５月下旬　　　助成金交付決定（当該年度分） |

**３．その他**

**（１）企業等との連携について**

◆大阪府障がい者芸術・文化大使の活用の方向性について（案）

 ・SNS等での情報発信

 ・入選作品展でのライブ・ペインティング

・ビッグ・アイ　アート工房のゲスト講師　など

◆協賛団体等との連携について

　　　・参考資料のとおりタイアップを進める。

**※国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）とは**

2001年（平成13年）、厚生労働省（当時は厚生省）により設置された、我が国の障がい者の芸術・文化活動の拠点。舞台芸術活動やアート活動の支援、情報発信等、長年にわたり、障がい者の社会参加活動を支援する様々な取組みを行い、2011年から、障がい者が創作したアート作品の公募・作品展事業（ビッグ・アイ　アート・プロジェクト）を実施。大阪府とも設立当初からこれまで継続して事業を受託し、障がい者を対象とした舞台芸術のワークショップなどの事業を実施している。